

鍛えて、ほめて 子どもの可能性を伸ばそう！



福岡県教育委員会では、子どもが自律的に成長するための原動力となる人格的資質（学ぶ意欲や自尊感情、チャレンジ精神、勤勉性等）を育成するため、鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた具体的実践を県内に広く普及することを目的として、「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトを実施しています。

本年度は、両指定都市を含む60市町村から選定された32の小・中学校がプロジェクト推進校として、学校や地域の特色に応じた課題を設定し、「鍛ほめ福岡メソッド」を具現した取組を実践しました。

本リーフレットでは、推進校の中から特色ある取組を行っている学校を紹介します。本年度は、特に「家庭・地域との連携」を図った取組を行っている事例を併せて紹介しています。

今後も「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた実践を通して、子どもの可能性を伸ばしていきましょう。

「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例①「体力向上を目指し、自分を鍛えよう」

遠賀町立遠賀中学校

○対象学年：第1学年

○ねらい：体力を高める活動を通して自己の成長を味わわせ体力向上を図る。

○取組概要：年間4回（体育会含む）の体育行事の事前活動において、自己の目標を明らかにさせるとともに、振り返りの時間を通して自己の成長を確かめさせる。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○各種体育行事を計画し、学年・学級目標（タイムや回数など）をもとに生徒に自己目標を立てさせることにより、挑戦意欲を喚起する。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○記録をもとに、段階的な目標を設定させる。また、チーム競技については、予行試合をもとに段階的に目標を話し合わせる。

○放課後等を利用して、体力や技能の向上を目的とした練習時間を設ける。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

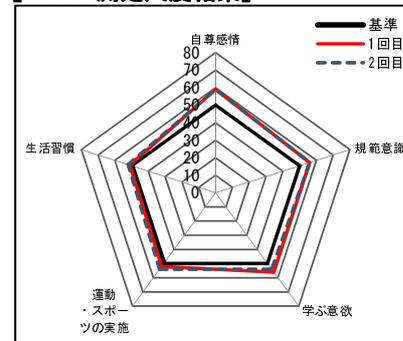
○事前の目標と、事後の自己記録・チーム記録とを比較させ、自己の成長やチームへの貢献について振り返る場及び発表する場を設ける。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・高い自尊感情の値を維持するとともに、「振り返る活動」において多くの生徒が「成長した自分」を実感する姿が見られた。
- ・目標を段階的に見直してさらなる向上を目指すようにするなど、「挑む活動」を工夫した結果、生徒個々の体力が向上した。
- ・予行試合をもとに得点力の向上を話し合わせる活動を通して、チームにおける一人一人の役割が明らかとなり、生徒はチームに貢献する喜びを実感するとともにスポーツに親しむ意欲が高まった。



【SRT測定尺度結果】



事例②「ふるさと柳川IPR大作戦 ～郷土に誇りをもつニッ河っ子」

柳川市立ニッ河小学校

○対象学年：第4・5・6学年

○ねらい：ふるさと柳川の魅力（良さ）について、見学・体験・情報発信を通して自尊感情を高める。

○取組概要：ふるさと柳川の魅力について実際に見学したり体験したりして、自分の感じた魅力をテーマ毎に保護者や地域に情報発信する。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○自分が知っているふるさと柳川の魅力について振り返り、自分が知らない魅力について体験したり、調査したりして、知り得た情報を発信していこうとする活動意欲をもたせる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○4年生には「地域安全会議」、5年生には「ニッ河米物語」、6年生には「職場体験」の活動を通して柳川の魅力を実感させる。

○自分が紹介したいふるさと柳川の魅力について自己決定し、発信方法を自己選択して、相手意識をもって情報収集・整理・分析を行う活動を仕組む。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

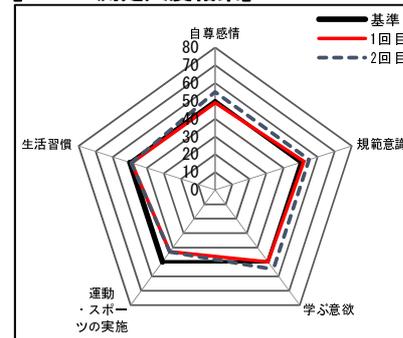
○学習発表会（保護者及び地域の方の参観）やエコ風船飛ばし活動（地域公民館との共催事業）を通して、自分達の活動について賞賛してもらえる場を設ける。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・ふるさと柳川の人・もの・ことの魅力について実感し、自分達の活動に対する保護者等からの賞賛により、達成感を味わうことができた。
- ・SRTの結果では、学ぶ意欲が6ポイント、自尊感情と規範意識が5ポイント向上した。



【SRT測定尺度結果】

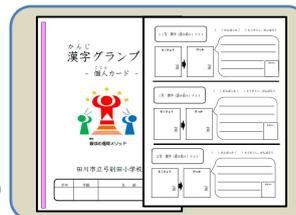


「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例③「全漢字グランプリ～全漢字検定の取組～」

田川市立弓削田小学校

- 対象学年：全学年
- ねらい：全漢字検定の取組を通して、学ぶ意欲の向上を図る。
- 取組概要：当該学年に配当された漢字を年度初めに学習し、定着に向けて繰り返し指導を行う。さらに年各2回（読み取り・書き取り）の全漢字検定テストを通して、90点以上の児童には認定証、100点には金賞を授与する取組を行う。なお、2回目の読み、書きともに100点の児童には、グランプリ賞を授与する。



【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 個人カードに目標値を設定させる。その際、自分のこれまでの結果をもとに考えさせ、目標到達可能な目標値を設定させる。
- 年間3回、目標値の再設定を行う。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

- 朝の活動の中で、3分間全漢字学習プリントを行う時間を設定する。
- 全漢字の取組について、保護者の協力をよびかけ、定期的に通信を発行する。
- 長期休業も含め、家庭学習の課題として出す。

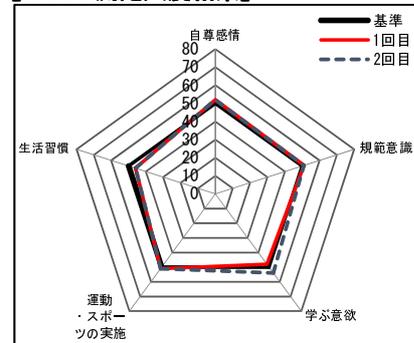
【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 個人カードに、結果と自分の練習方法の評価・改善点を記入させる。
- 90点以上の児童には全漢字認定証、100点には金賞を授与する。
- 第2回目の読み、書きともに100点には、グランプリ賞を授与する。
- 保護者や担任の先生は、励ましや賞賛の言葉をかけるようにする。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・SRT調査の結果では、学ぶ意欲の数値の伸びが見られた。
- ・漢字検定結果において「全漢字読み取りテスト」の認定証を授与した児童は全児童数の95%で、その内の金賞授与者は37%であった。

【SRT測定尺度結果】



事例④「Chizuka Up Noteの取り組みを通じた鍛ほめプロジェクト」

豊前市立千束中学校

- 対象学年：全学年
- ねらい：自分で目標を設定し、毎日取り組む自主学習ノート（Chizuka Up Note：略称CUノート）で、家庭学習の充実と学力向上を目指す。
- 取組概要：脳科学を活用した効率のよい学習法を取り入れ、毎日、毎時間の授業の振り返りや自主学習に取り組み、そのPDCAサイクルを2か月ごとに実施する。



【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

- 2か月に一度、新しいノートを配布する際「10年後→中学卒業後→今年度→2か月後」と目標を細分化して、一步上を目指す目標を設定させる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

- 「継続は力なり」を大切に、年中無休で、CUノートに取り組ませる。
 - ・一日の全授業内容をアウトプットさせるとともに、反復して学習させる。
 - ・毎日、全員が合格できるように、放課後等を活用し、教師同士が共通した基準で個に応じた支援する。
 - ・週末は家庭でも点検を行い、保護者にメッセージを記入してもらう。

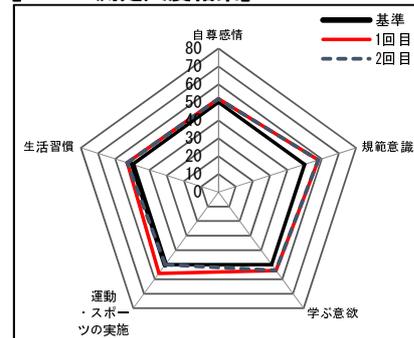
【振り返る活動のpoint】（ほめる）

- 努力や創意工夫が見られる自主学習ノートを校内に掲示したり、学級や学年通信等で生徒や家庭、地域に紹介したりする。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・根気強く取り組むことで達成感を味わうことができ、より質の高いCUノートを目指す生徒が増え、学習意欲の高まりが見られた。
- ・教師や家族に努力を認められることで、「次の日のCUノートも頑張りたい」という生徒の姿が多く見られた。
- ・全国学習状況調査では、家庭学習時間の増加や将来の夢や目標をもっている生徒の割合が増加した。

【SRT測定尺度結果】



「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例

事例⑤「自己の生き方を考える道徳教育の推進」

北九州市立永犬丸中学校

○対象学年：全学年

○ねらい：道徳の時間を中心とした授業の工夫・改善を通して、自己肯定感を育み、学習意欲を高める。

○取組概要：授業の中で「めあて」「まとめ」を明確にし、学習形態の工夫を通して「自尊感情を高める取組」や「話し合う活動の充実」を図る。組織的に体験活動や日常生活の中で実践力を育む取組を行う。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○各教科及び道徳の時間の授業において、ペア学習やホワイトボード等を活用したグループでの学び合いの学習や、議論し合う学習の場面を積極的に設定する。道徳の時間の授業と、体験活動や学校行事等を関連付け、学ぶ意欲や自尊感情を高める工夫に努める。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○学習内容を生徒にまとめさせて、掲示するなどして広く啓発する。放課後学習や質問教室などを通して、生徒と教師の人間関係を構築し、積極的に相談する習慣を身に付けることができるようにする。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

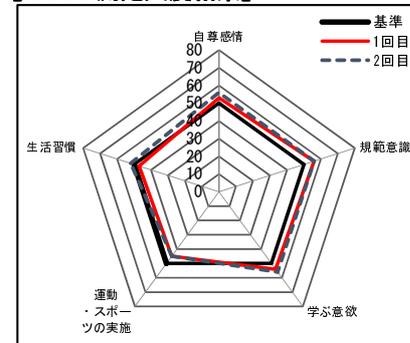
○学年・学級通信や、各学年集会での活動発表を通して、1年間の生徒の成長を発信する。また、文化祭や全校集会において、生徒に発表させ全員で成果を共有する。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・教員や保護者、地域の方々から成果を認められたことや生徒同士で認め合い伸ばし合うことで、よりよい人間関係が構築された。
- ・SRTにおいては、「自尊感情」「生活習慣」「学ぶ意欲」に伸びが見られた。



【SRT測定尺度結果】



事例⑥「確かな学力～学ぶ意欲の向上を目指して～」

福岡市立千代中学校

○対象学年：第1学年

○ねらい：わかる授業を目指し、生徒の「学ぶ意欲」の向上をねらう。

○取組概要：学力向上を目指し全授業TT授業、国語・数学・理科は習熟度別分割授業を実施。また、班形態学習を仕組み、生徒同士の学び合いから主体的な学びを促し、学習内容の定着、そして学力向上に繋げる。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○班形態学習を行う中で、班全員が理解できるように学び合い活動を行う。発表を行う際は、班の中で「司会者」「発表者」などの役割分担を行い、全員が参加できるように活動を仕組む。

○外部講師を招き、8回の進路学習を通して、現時点での夢を描かせることから個人の目標を設定し、今後の学校生活の見通しを持たせる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○定期考査前の早朝学習会で未定着の学習内容を把握させ、補充学習での個別指導により既習内容の定着を図らせる。

○授業の中での班形態学習を通して、自分の考えを述べたり、友達の考えを受け入れたりして、いろいろな考え方を感じさせる。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

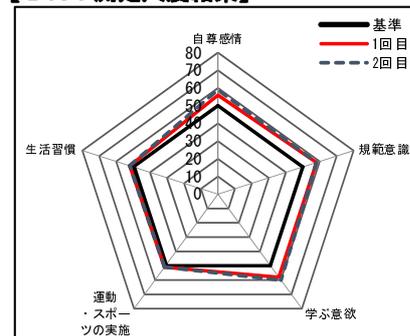
○班の発表後は、各班の良かったところや頑張っていた人などを発表させたり、振り返りシートに記入させたりする。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・SRT調査結果から、「学ぶ意欲」の向上が見られた。
- ・「学ぶ意欲」の向上から学び合いの活動が活性化し、班や学級、学校全体でのグループエンカウンターを取組や学校行事を通して、「自尊感情」の高まりがSRT調査結果だけではなく、振り返りシートでも見られるようになった。



【SRT測定尺度結果】



「家庭・地域との連携」を図った「鍛ほめ福岡メソッド」の推進

「鍛ほめ福岡メソッド」における「鍛える」「ほめる」

「鍛ほめ福岡メソッド」でいう「鍛える」とは、子どもがチャレンジしたくなる状況をつくり、子どもをその気にさせる工夫を指します。また、その気になった子どものチャレンジを見守りつつ、最小限の支援と言葉かけによって、チャレンジを諦めさせない、見放さない配慮を指します。

そして、「鍛ほめ福岡メソッド」でいう「ほめる」とは、ほめることで「終わり」とせず、ほめることを「始まり」ととらえ、ほめることを通して、努力ができる自分や、やればできる自分への手応えを感じさせ、更なる意欲を引き出すことをねらう行為を指します。

「鍛ほめ福岡メソッド」は、「鍛える」と「ほめる」ことをつなげ、子どもに自律的に努力する習慣や周囲に対し自分の役割や責任を果たす習慣が身に付くまで、関わり続ける指導方法です。

【コンセプト】鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす！

鍛えて(いろいろ試して解決したいと思う心やできないことをできるようになりたいと思う心)
ほめて(取組の結果や取り組んできた過程を)
子どもの可能性(学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等)を伸ばす。

【仕組み】

【鍛える】

(2)《挑む活動》

・子ども一人一人または子ども同士のグループが、周りの人から最小限の支援を受けつつ自らの力で解決に挑む。

【鍛える】

(1)《目標設定の活動》

・指導者、子ども一人一人または子ども同士のグループが、やや困難な課題や目標を設定する。

【ほめる】

(3)《振り返る活動》

・指導者が振り返りの場を設定し、指導者または子ども同士が、その頑張りをほめる、認める。

【伸ばす】

「家庭・地域との連携」の重要性

「鍛ほめ福岡メソッド」では、「目標設定の活動」「挑む活動」「振り返る活動」を繰り返します。このサイクルの中で、目標達成に向けて挑み、努力を続ける子どもを目指しています。

しかしながら、子どもにとって、自分一人だけで目標達成に向けて努力を続けることは、難しい側面があり、学校・家庭・地域が一体となって支えていくことが重要です。

また、学校にとって、家庭や地域の方々に、子どもが目標に向かって努力を重ね、挑み続ける過程に関わっていただくことは、様々な立場や場面で「鍛える」「ほめる」ことにつながり、目指す人格的資質を効果的に育成することにつながります。

さらに、「鍛ほめ福岡メソッド」で育成を目指す子どもの姿を家庭や地域と共有し、連携・協働して取り組むことは「社会に開かれた教育課程」という側面からも重要な意味をもちます。

学校・家庭・地域が一体となった取組を繰り返すことで、鍛えて、ほめて、子どもの可能性をともに伸ばそうとする、「鍛ほめ文化」が醸成され、根付いていきます。

学校と家庭・地域とが連携・協働して「鍛える」「ほめる」ことを繰り返し、子どもの可能性を引き出し、伸ばしていきましょう。



「家庭・地域との連携」の具体例と留意点

「家庭・地域との連携」では、各段階で以下のようなことに留意し、進めることが大切です。

① <事前> 理念や目指す姿を共有する

入学説明会やPTA総会等の際に、取組の考え方や目指す子どもの成長、保護者としてかけてほしい言葉等について説明したり、活動に取り組む姿を授業参観の際に実際に見てもらったり、通信等で目的や計画等を伝えたりする取組が考えられます。

取組の背景、目的等を理解していただくために、課題等を示すことが大切です。



② <目標設定の活動【鍛える】> 目標を共有する

子どもの状況に応じた目標を子ども自身に設定させることが大切です。その際、子どもの状況を最も把握している家庭に協力を依頼して、目標設定を支援していただくことが考えられます。設定した目標に対する応援コメントを求めることも効果的です。

やや困難で、実現可能な目標設定が必要です。



③ <挑む活動【鍛える】> 意義等を共有し、最小限の支援を依頼する

挑む活動では、家庭や地域の協力を依頼するに当たって、その活動で何をねらっているのか、どんな効果が期待されるのかについて家庭や地域と常に共有することが大切です。

また、子ども自身の力で解決に挑むことを前提としつつ、支援については最小限にとどめていただくことを依頼することも必要です。

目指す子どもの姿が見られた際に、通信等で家庭や地域に紹介することが効果的です。



④ <振り返る活動【ほめる】> 結果だけではなく、過程を重視する

数値等、直接結果として表れなくても解決に挑む過程の中で、育成を目指す人格的資質の変容が姿として見られることもあります。家庭や地域の方にもその視点をもってほめていただくことが重要です。

次の目標設定に向けて、課題を明らかにすることが重要です。



⑤ <事後> 子どもの変容を共有する

学校行事等、家庭や地域の方が参加している場で、取組による子どもの変容を伝えることが考えられます。また、家庭や地域における変容について情報を求め、常に意識してもらうように働きかけます。

次の目標設定への支援を家庭等に働きかけることが重要です。



家庭における日常的な言葉かけのポイント

「鍛ほめ福岡メソッド」では、自律を促す指導を大切にしています。

自律を促すには、できる限り子ども自身が選んだり決めたりする（自己決定）場面をつくるようにすることがポイントです。下の例1・2の、矢印左側の大人は、指示・命令や叱責をしています。これに対し、右側の大人は、今後の行動に対する問いかけをしており、子どもが自分の意思で決められるよう促しています。

例 1

そろそろゲームを止めて宿題をきなさい。



ううん...。(いますぐ止められない...)

今日は、何時から宿題を始めるの？



ええっと、5時半から始めるよ。



例 2

なぜ、こんなことをしたんだ！



だって...。(理由を言ったら、また怒られる...。)

これから、どうしようと思っ
ているんだ？



これからは、きちんと確かめて、〇〇をするよ。

自分の意思で選んだり決めたりする経験を積ませることで、子どもは徐々に自分で決めた計画や行動に責任をもつようになります。それに伴い、大人からほめられたり、認められたりする機会が増え、学ぶ意欲や自尊感情等を効果的に向上させることができます。

「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクトの実践事例（家庭・地域連携）

事例⑦「めざせ！学びの持久力アップ」プロジェクト

宇美町立宇美小学校

○対象学年：全学年

○ねらい：漢字、計算についての学びを反復、継続した取組を通して、「学ぶ意欲」「困難に立ち向かう心」の育成をねらう。

○取組概要：自分で設定した目標に応じた漢字、計算の問題を自主的に選択し、保護者や地域の方から助言をもらいながら意欲的に学んでいく。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○6月、9月、11月、1月に挑む内容（漢字、計算、文章問題）を選択するための診断テストを実施した。その際、テスト結果に加え目標設定シート、記録用紙を「取組ファイル」に綴じて自己診断しながら目標設定できるようにした。さらに、全児童、教師、保護者や地域の方が取組を共通理解できるように説明シートを配布し、説明を行った。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○児童が自主的に学べるように場所と時間を意図的に設定した。その際、学力向上支援員が診断テスト結果を生かした問題を作成し、個別指導を行った。また、担任は賞賛に加え、次回挑むコースの助言をした。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

○テスト結果から次回のコース選択の機会を設けた。また、目標達成できた児童には校長から「マスター証」を渡し更なる意欲付けを行った。

【家庭・地域との連携のpoint】

○「もくもくチャレンジ（漢字、計算等）」では、保護者にボランティアとして参画していただき、採点や取組に対する助言をいただいた。

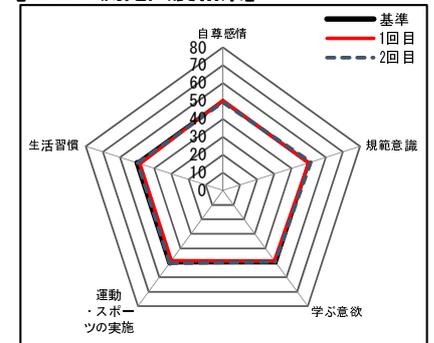
○児童の記録用紙に、取組を継続していることの価値や取組の成果について具体的なコメントを添えて賞賛していただいた。

☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・自尊感情以外の項目において若干の伸びが見られた。
- ・日々の授業で「自主的」かつ「丁寧」に取り組む児童が増えた。



【SRT測定尺度結果】



事例⑧「challenge the limits 限界に挑戦しよう！」

久留米市立北野中学校

○対象学年：全学年

○ねらい：やればできるという達成感を持たせ、自尊感情を高める。

○取組概要：日々の家庭学習時間（自主学習）を自分で設定したり、定期考査前のメディアに触れる時間を自分で制限したりする。活動を記録し、結果を振り返り、目標を再設定して、取組を続けていく。

【目標設定の活動のpoint】（鍛える）

○「1日の家庭学習時間」「週の家庭学習時間」の目標を立てる時は、なりたい自分の姿をイメージし、自分が当初考えた目標よりも、より高い目標を立てる。

【挑む活動のpoint】（鍛える）

○生徒会専門委員会（学習委員会、生活委員会）の点検活動と連動し、自主的・主体的な活動とする。

【振り返る活動のpoint】（ほめる）

○目標の達成を1週間単位とすることによって、週の途中でも達成するためにはどうすればよいかを常に考えながら活動していく。

【家庭・地域との連携のpoint】

○保護者による点検表へのコメントの記入。

○メディアの制限に対する各家庭の協力。

○学校の教育活動を毎週メールで配信し、学校と家庭が常に連携する。

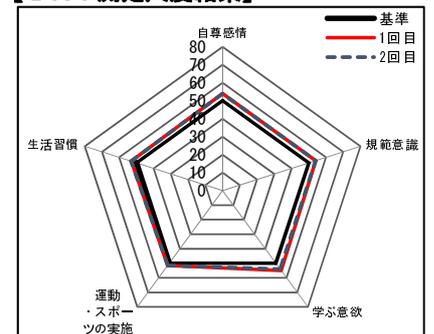
☆このような効果があった！（伸ばす）

- ・SRT調査の結果では、すべての尺度で基準以上であり、1回目と2回目で顕著な違いは見られないが、毎日の日常的な活動を通して、家庭での自学学習の習慣が身に付いた。
- ・取組の結果を記録していくことで達成感を得るとともに、自尊感情を高めることができた。



日	予定	目標時間	実施	実施時間	【活動の振り返り】
月	18:00~19:00	2時間	18:00~20:00	2時間	水曜日にして目標を少しも超えなかった。
火	19:00~20:00	1時間	19:00~20:00	1時間	目標をやった。
水	21:00~22:30	1.5時間	~	0時間	目標を達成できなかった。
木	20:30~22:00	1.5時間	20:30~22:30	2時間	目標を達成した。
金	21:00~22:00	1時間	20:30~22:30	2時間	目標を達成した。

【SRT測定尺度結果】



平成30年度「鍛えよう！ほめよう！」プロジェクト推進校一覧

ねらい：A「学ぶ意欲」 B「自尊感情」 C「困難に立ち向かう心」 D「体力」

番号	地区	市町村	校種	学校	※ねらい				主な取組
					A	B	C	D	
1	福岡	福岡市	小	東光小学校	○				読書活動 (確かな学力)
2		福岡市	中	千代中学校	○				学力向上 (確かな学力)
3		筑紫野市	中	天拝中学校	○				地域貢献活動 (豊かな心)
4		春日市	小	春日原小学校	○				縦割り活動 (豊かな心)
5		大野城市	小	御笠の森 小学校				○	運動 (健やかな体)
6		宇美町	小	宇美小学校	○	○			学力向上 (確かな学力)
7		粕屋町	中	粕屋東中学校	○	○			トーク活動・挨拶 (確かな学力・生活習慣の確立)
8		新宮町	小	相島小学校				○	運動 (健やかな体)
9		宗像市	小	南郷小学校	○				学力向上 (確かな学力)
10		糸島市	小	深江小学校				○	運動 (健やかな体)
11	北九州	北九州市	小	八枝小学校	○				各学習等 (豊かな心)
12		北九州市	中	永犬丸中学校	○	○			道徳 (豊かな心)
13		直方市	小	直方南小学校	○				縦割り活動 (豊かな心)
14		遠賀町	中	遠賀中学校				○	運動 (健やかな体)
15		水巻町	小	杵小学校	○	○			読書活動 (豊かな心)

番号	地区	市町村	校種	学校	※ねらい				主な取組
					A	B	C	D	
16	北筑後	久留米市	小	北野小学校				○	運動・読書 (確かな学力・豊かな心)
17		久留米市	中	北野中学校		○			家庭学習 (生活習慣の確立)
18		小郡市	中	小郡中学校				○	体験活動 (生活習慣の確立)
19		うきは市	小	小塩小学校				○	運動・計算 (豊かな心)
20	南筑後	大刀洗町	中	大刀洗中学校	○				キャリア教育 (確かな学力)
21		柳川市	小	ニッ河小学校		○			総合的な学習 (豊かな心)
22		みやま市	小	上庄小学校		○	○		運動 (健やかな体)
23		八女市	小	岡山小学校				○	運動 (健やかな体)
24		筑後市	小	古島小学校				○	挨拶・運動 (豊かな心)
25	大川市	中	三又中学校				○	体験活動 (豊かな心)	
26	筑豊	田川市	小	弓削田小学校	○	○			学力向上 (確かな学力)
27		大任町	小	大任小学校		○			読書・運動 (豊かな心)
28		添田町	中	添田中学校	○				学力向上 (確かな学力)
29		嘉麻市	中	稲築中学校				○	縦割り活動 (豊かな心)
30	京築	苅田町	小	白川小学校				○	運動・縦割り活動 (豊かな心)
31		上毛町	小	西吉富小学校	○				家庭学習 (確かな学力)
32		豊前市	中	千束中学校	○	○			家庭学習 (確かな学力)